

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 道路ストック総点検事業															
所管課		建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算													
事業の目的	市道橋梁等の点検を行い、道路の安全性確保と道路施設の長寿命化による維持経費の平準化を図る。				区分 No.	区分名												
					款	7	土木費											
					項	2	道路橋梁費											
					目	2	道路維持費											
事業	1	道路維持費																
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持及び修繕)																	
総合計画	基本計画 2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備																	
R2年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度 概要</th> <th colspan="2">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁点検</td> <td>66橋</td> <td>30,000千円</td> </tr> <tr> <td>跨線橋点検</td> <td>1橋</td> <td>20,000千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>計</td> <td>50,000千円</td> </tr> </tbody> </table>			令和2年度 概要	金額		橋梁点検	66橋	30,000千円	跨線橋点検	1橋	20,000千円	委託料	計	50,000千円	財源の内訳 (単位:千円)		
	令和2年度 概要	金額																
橋梁点検	66橋	30,000千円																
跨線橋点検	1橋	20,000千円																
委託料	計	50,000千円																
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。			分担金														
				使用料														
				国費	30,250													
				県費														
				市債														
				その他														
				一般財源	19,750													
				R2予算額	50,000													
				R元 当初予算額	50,000													
				R元 現計予算額	50,000													
				増減額														
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)															
決算額又は決算見込額 (千円)		58,486	50,000															
従事職員数【人工】		0.50	0.50															
人件費 (人工×8,000千円)		4,000	4,000															
総事業費: 人件費含む (千円)		62,486	54,000															
活動指標名		点検件数																
活動指標の算式		—																
活動指標の実績(見込)		183	単位	箇所	166													
単位当たりコスト (円)		341,454	325,301															
		特定財源の状況																
		社会資本整備総合交付金 30,250千円																
		備考																
		<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (2) 道路ストック総点検事業																

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路維持費（市道舗装等維持補修）											
所管課		建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算									
事業の目的	市道1,687路線、総延長747kmの適正な維持管理を実施し、市民生活環境の改善、安全性、利便性の向上を図る。				区分 No.	区分名								
					款	7	土木費							
					項	2	道路橋梁費							
					目	2	道路維持費							
事業	1	道路維持費												
根拠条例等	「道路法42条」（道路の維持及び修繕）													
総合計画	基本計画 2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備													
R2年度事業の概要	<table border="1"> <tr><td colspan="2">令和2年度事業概要</td></tr> <tr><td colspan="2">舗装維持補修工事</td></tr> <tr><td>市道</td><td>中尾谷清水線他9路線</td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>112,500千円</td></tr> </table>				令和2年度事業概要		舗装維持補修工事		市道	中尾谷清水線他9路線	工事請負費	112,500千円	財源の内訳（単位：千円）	
	令和2年度事業概要													
舗装維持補修工事														
市道	中尾谷清水線他9路線													
工事請負費	112,500千円													
事業の目標・成果（これまでの成果、今後の見通し）	市道1,687路線、総延長747kmの適正な維持管理を実施し、市民生活環境の改善、安全性、利便性の向上を図る。				分担金									
					使用料									
					国費									
					県費									
					市債	110,400								
					その他									
					一般財源	2,100								
					R2予算額	112,500								
					R元 当初予算額	78,500								
					R元 現計予算額	78,500								
					増減額	34,000								
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況									
決算額又は決算見込額（千円）		29,988	78,500		辺地対策事業債 21,800千円									
従事職員数【人工】		0.50	0.50		過疎対策事業債 12,300千円									
人件費（人工×8,000千円）		4,000	4,000		合併特例債 76,300千円									
総事業費：人件費含む（千円）		33,988	82,500											
活動指標名		国勢調査人口												
活動指標の算式		—												
活動指標の実績(見込)		31,105	単位	人	31,105	単位								
単位当たりコスト（円）		1,093			2,652	備考								
		<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施												

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 橋梁等長寿命化修繕事業																																								
所管課		建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算																																						
事業の目的	橋梁・トンネル等の道路施設点検に基づき、修繕計画を策定し、計画性を持った修繕を行うことにより、道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。				区分 No.	区分名																																					
					款	7	土木費																																				
					項	2	道路橋梁費																																				
					目	2	道路維持費																																				
					事業	1	道路維持費																																				
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持及び修繕)																																										
総合計画	基本計画 2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備																																										
R2年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">令和2年度概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">橋梁</td> <td>委託料</td> <td>1橋</td> <td colspan="2">20,000千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>8橋</td> <td colspan="2">85,000千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td colspan="2">105,000千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">トンネル</td> <td>委託料</td> <td>2箇所</td> <td colspan="2">25,000千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td colspan="2">25,000千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事務費</td> <td></td> <td colspan="2">2,201千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td colspan="2">132,201千円</td> </tr> </tbody> </table>				令和2年度概要					橋梁	委託料	1橋	20,000千円		工事請負費	8橋	85,000千円		計		105,000千円		トンネル	委託料	2箇所	25,000千円		計		25,000千円		事務費			2,201千円		合計			132,201千円		財源の内訳 (単位：千円)	
	令和2年度概要																																										
橋梁	委託料	1橋	20,000千円																																								
	工事請負費	8橋	85,000千円																																								
	計		105,000千円																																								
トンネル	委託料	2箇所	25,000千円																																								
	計		25,000千円																																								
事務費			2,201千円																																								
合計			132,201千円																																								
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。				分担金																																						
					使用料																																						
					国費	78,645																																					
					県費																																						
					市債	54,300																																					
					その他																																						
					一般財源	▲ 744																																					
					R2予算額	132,201																																					
				R元 当初予算額	155,683																																						
				R元 現計予算額	155,683																																						
				増減額	▲ 23,482																																						
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)																																								
決算額又は決算見込額 (千円)		51,504	155,683																																								
従事職員数【人工】		0.50	0.50																																								
人件費 (人工×8,000千円)		4,000	4,000																																								
総事業費：人件費含む (千円)		55,504	159,683																																								
活動指標名		修繕橋梁等箇所数																																									
活動指標の算式		-																																									
活動指標の実績(見込)		1	単位	箇所	1	単位	箇所																																				
単位当たりコスト (円)		55,504,000		159,683,000																																							
		<b>特定財源の状況</b> 社会資本整備総合交付金 78,645千円 辺地対策事業債 14,800千円 過疎対策事業債 24,900千円 合併特例債 14,600千円																																									
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (3) 橋梁等長寿命化事業																																									

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 道路災害防除																	
所管課	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算																	
事業の目的	道路施設点検に基づき、災害防除対策計画を策定し、計画性を持った対策を行うことにより、道路の安全性の確保及び経費の平準化を図る。			区分 No.	区分名															
				款	7 土木費															
				項	2 道路橋梁費															
				目	2 道路維持費															
事業	1 道路維持費																			
根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持及び修繕）																			
総合計画	基本計画 2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備																			
R2年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度概要</th> <th colspan="2">市道 長峯大野線他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害防除工事</td> <td>委託料</td> <td>25,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事請負費</td> <td>70,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費</td> <td>1,199千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>96,199千円</td> </tr> </tbody> </table>			令和2年度概要	市道 長峯大野線他		災害防除工事	委託料	25,000千円		工事請負費	70,000千円		事務費	1,199千円		計	96,199千円	財源の内訳 (単位：千円)	
	令和2年度概要	市道 長峯大野線他																		
災害防除工事	委託料	25,000千円																		
	工事請負費	70,000千円																		
	事務費	1,199千円																		
	計	96,199千円																		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	道路の安全性の確保及び経費の平準化を図る。			分担金																
				使用料																
				国費	27,280															
				県費																
				市債	67,800															
				その他																
				一般財源	1,119															
				R2予算額	96,199															
				R元 当初予算額	80,000															
				R元 現計予算額	80,000															
				増減額	16,199															
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																
決算額又は決算見込額 (千円)	7,004	80,000		社会資本整備総合交付金 27,280千円																
従事職員数【人工】	0.50	0.50		過疎対策事業債 30,800千円																
人件費 (人工×8,000千円)	4,000	4,000		合併特例債 37,000千円																
総事業費：人件費含む (千円)	11,004	84,000																		
活動指標名	対策済箇所数																			
活動指標の算式	—																			
活動指標の実績(見込)	1	単位	箇所	3	単位 箇所															
単位当たりコスト (円)	11,004,000		28,000,000																	
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (4)道路災害防除事業																			

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	交通安全施設整備事業																	
所管課	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算																	
事業の目的	市道1,687路線、総延長747kmのうち、特に市民生活に密着した道路の防護柵、カーブミラーや区画線等の維持補修を行い、道路利用者の安全確保を図る。			区分 No.	区分名															
				款	7 土木費															
				項	2 道路橋梁費															
				目	2 道路維持費															
事業	3 交通安全施設整備費																			
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持及び修繕)																			
総合計画	基本計画 2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備																			
R2年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度事業概要</th> <th colspan="2">交通安全施設整備工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(区画線等)</td> <td>工事請負費</td> <td>4,000千円</td> </tr> <tr> <td>(カーブミラー、ガードレール)</td> <td>工事請負費</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>(通学路カラー舗装等)</td> <td>工事請負費</td> <td>1,500千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>6,500千円</td> </tr> </tbody> </table>			令和2年度事業概要	交通安全施設整備工事		(区画線等)	工事請負費	4,000千円	(カーブミラー、ガードレール)	工事請負費	1,000千円	(通学路カラー舗装等)	工事請負費	1,500千円		計	6,500千円	財源の内訳 (単位：千円)	
	令和2年度事業概要	交通安全施設整備工事																		
(区画線等)	工事請負費	4,000千円																		
(カーブミラー、ガードレール)	工事請負費	1,000千円																		
(通学路カラー舗装等)	工事請負費	1,500千円																		
	計	6,500千円																		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	カーブミラー、ガードレール、区画線等の修繕、新設を行い道路利用者の安全性確保を図る。			分担金																
				使用料																
				国費																
				県費																
				市債																
				その他																
				一般財源	6,500															
				R2予算額	6,500															
				R元 当初予算額	8,827															
				R元 現計予算額	8,827															
				増減額	▲ 2,327															
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																
決算額又は決算見込額 (千円)	6,872	8,827																		
従事職員数【人工】	0.10	0.10																		
人件費 (人工×8,000千円)	800	800																		
総事業費：人件費含む (千円)	7,672	9,627																		
活動指標名	整備箇所数																			
活動指標の算式	—																			
活動指標の実績(見込)	42	単位	箇所	34	単位	箇所														
単位当たりコスト (円)	182,667		283,147		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (5)交通安全施設整備事業															

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路新設改良費（市道長瀬線）												
所管課	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算												
事業の目的	道路の新設改良を実施することにより、市民生活の環境改善、安全性及び利便性の向上を図る。			区分	No.	区分名									
				款	7	土木費									
				項	2	道路橋梁費									
				目	3	道路新設改良費									
事業	1	本庁道路新設改良費													
根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持及び修繕）														
総合計画	基本計画 2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備														
R2年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度事業概要</th> <th colspan="2">道路拡幅工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市道 長瀬線</td> <td>用地費</td> <td>4,950千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>4,950千円</td> </tr> </tbody> </table>			令和2年度事業概要	道路拡幅工事		市道 長瀬線	用地費	4,950千円		計	4,950千円	財源の内訳（単位：千円）		
	令和2年度事業概要	道路拡幅工事													
市道 長瀬線	用地費	4,950千円													
	計	4,950千円													
事業の目標・成果（これまでの成果、今後の見通し）	道路の新設改良を実施することにより、市民生活の環境改善、安全性及び利便性の向上を図る。			分担金											
				使用料											
				国費											
				県費											
				市債	4,900										
				その他											
				一般財源	50										
				R2予算額	4,950										
				R元当初予算額	43,950										
				R元現計予算額	43,950										
				増減額	▲ 39,000										
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況											
決算額又は決算見込額（千円）	1,181	19,000		過疎対策事業債 4,900千円											
従事職員数【人工】	0.10	0.10													
人件費（人工×8,000千円）	800	800													
総事業費：人件費含む（千円）	1,981	19,800													
活動指標名	整備箇所														
活動指標の算式	-														
活動指標の実績(見込)	1	単位	箇所	2	単位										
単位当たりコスト（円）	1,981,000		9,900,000												
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (1) 効果的な道路新設・改良と補修の実施														

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業		市道春日小附線他		
所管課		建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	当該路線は、地域の重要な生活道路であるが、幅員が狭く、一部の大型車の通行に支障をきたしている。また、うだ・アニマルパークへの南側からのアクセス道路として機能を充実することにより、観光客の集客、交通渋滞の解消等による通行の安全確保及び利便性の向上を図る。				区分 No.	区分名	
	款	7	土木費		項	2	
	目	3	道路新設改良費		事業	17	
					社会資本整備総合交付金事業（春日小附線他）		
根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持及び修繕）						
総合計画	基本計画 2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備						
R2年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業				財源の内訳（単位：千円）		
	路線名	市道 春日小附線		市道 春日藤井線			
	全体計画	H25～R3年度		H25～R3年度			
	全体事業	50,500千円		129,500千円			
	全体延長	L=205m		L=135m			
	令和2年度概要	L=20m W=7m		L=60m W=7m			
	工事請負費	1,550千円		10,000千円			
	用地費	1,350千円		0千円			
	補償費	3,100千円		0千円			
	事務費	0千円		600千円			
計	6,000千円		10,600千円				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	主要な生活道路の安全性の確保と利便性の向上による観光客の増加により地域の活性化が図られる。						
	分担金						
	使用料						
	国費						
	県費						
	市債						
	その他	16,000					
	一般財源	600					
R2予算額	16,600						
R元 当初予算額	16,431						
R元 現計予算額	16,431						
増減額	169						
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		31,434	431		地域づくり推進基金繰入金 8,000千円		
従事職員数【人工】		0.40	0.40		雑入 8,000千円		
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200				
総事業費：人件費含む(千円)		34,634	3,631				
活動指標名		整備延長					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		82	単位	m	単位	m	
単位当たりコスト(円)		422,366				備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	河川維持補修事業				
所管課	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市内の重要河川等の適正な維持管理を行い、災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保する。			区分 No.	区分名		
				款	7	土木費	
				項	3	河川費	
				目	1	河川総務費	
事業	1	本庁河川総務費					
根拠条例等	「河川法第15条の2」（河川管理施設等の維持又は修繕）						
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進						
R2年度事業の概要	・ 堆積土砂撤去工事（菟田野見田地区）3,000千円 見田川 L=250m			財源の内訳（単位：千円）			
				分担金			
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）	見田川の適正な維持管理を行い、災害を未然に防止する。			使用料			
				国費			
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	3,000		
				R2予算額	3,000		
				R元 当初予算額	29,000		
R元 現計予算額	29,000						
増減額	▲ 26,000						
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)				
決算額又は決算見込額（千円）		4,000	29,000				
従事職員数【人工】		0.10	0.10				
人件費（人工×8,000千円）		800	800				
総事業費：人件費含む（千円）		4,800	29,800				
活動指標名		実施箇所数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績（見込）		1	単位	箇所	2	単位	箇所
単位当たりコスト（円）		4,800,000		14,900,000			
特定財源の状況							
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (7)河川維持補修事業					



令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	<b>急傾斜地崩壊防止事業</b>			
所管課	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	急傾斜地の崩壊による災害を未然に防止し住民生活の安全を確保する。			区分 No.	区分名	
				款	7	土木費
				項	3	河川費
				目	1	河川総務費
事業	1	本庁河川総務費				
根拠条例等	土砂災害防止法					
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進					
R2年度事業の概要	急傾斜地崩壊対策事業負担金 ・室生下田口地区 3,780千円 ・大宇陀小附地区 1,680千円			財源の内訳 (単位：千円)		
	急傾斜地区崩壊防止施設の設置等を行う事により、災害から市民を保護し、安全性の確保を図る。			分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)				使用料		
				国費		
				県費		
				市債	5,400	
				その他		
				一般財源	60	
				R2予算額	5,460	
				R元 当初予算額		
R元 現計予算額						
増減額	5,460					
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況 自然災害防止事業債 5,400千円	
決算額又は決算見込額 (千円)						
従事職員数【人工】						
人件費 (人工×8,000千円)						
総事業費：人件費含む (千円)						
活動指標名						
活動指標の算式						
活動指標の実績(見込)			単位	単位		
単位当たりコスト (円)						
					備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (20)急傾斜地崩壊防止事業	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	既存木造住宅耐震診断・改修支援事業				
所管課		まちづくり推進課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	大規模地震発生時に被害が大きくなると予想される旧基準建築物について、耐震診断の実施により耐震性を把握し、耐震改修の実施や一室補強となるシェルターの設置を行うことで、既存木造住宅の安全性向上を推進する。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	1	都市計画総務費
事業	1	本庁都市計画総務費					
根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律・宇陀市耐震改修促進計画						
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進						
R2年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存木造住宅耐震診断支援事業 4件×50千円=200千円</li> <li>既存木造住宅耐震改修支援事業 2件×50千円=1,000千円</li> <li>耐震シェルター設置事業 1件×250千円=250千円</li> </ul>				財源の内訳 (単位：千円)		
	<p>地震により耐震性が不十分な建築物の被害が軽減されることにより、仮設住宅や瓦礫の減少が図られ、早期の復旧・復興に寄与する。また、避難路が確保されることなどから避難、救命、消火等の活動が速やかに行えることで災害の拡大を防ぐことができ、人的被害・物的被害を軽減できる。</p>				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)					使用料		
					国費	725	
					県費	362	
					市債		
					その他		
					一般財源	363	
					R2予算額	1,450	
				R元 当初予算額	1,900		
				R元 現計予算額	1,900		
				増減額	▲ 450		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		200	450		住宅建築物耐震改修等事業補助金 (国) 600千円 (県) 300千円		
従事職員数【人工】		0.10	0.10		耐震シェルター設置事業補助金 (国) 125千円 (県) 62千円		
人件費 (人工×8,000千円)		800	800		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (8) 既存木造住宅耐震診断・改修支援事業		
総事業費：人件費含む (千円)		1,000	1,250				
活動指標名		診断・改修実績数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		4	単位	戸	4	単位	戸
単位当たりコスト (円)		250,000		312,500			

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ブロック塀等撤去支援事業				
所管課		まちづくり推進課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	地震の揺れによるブロック塀の倒壊で生じる通行者の死傷被害及び、地震後の避難や救助・消防活動への支障を防止する。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	1	都市計画総務費
事業	1	本庁都市計画総務費					
根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、宇陀市耐震改修促進計画						
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進						
R2年度事業の概要	道路に面しているブロック塀等の撤去に対して補助を行う。 ・ブロック塀等撤去支援事業補助金 100千円×7件＝700千円（補助率1/2、上限100千円）				財源の内訳（単位：千円）		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	道路等公共空間に接するブロック塀等は、地震時に倒壊の危険性が認められていても、行政の意向だけで除去することは困難である。市民の安全確保を図るため、事業主体となる民間を支援してブロック塀等の撤去を促し、危険要素の解消に努めることで安全安心なまちづくりを推進する。				使用料		
					国費	350	
					県費	175	
					市債		
					その他		
					一般財源	175	
					R2予算額	700	
					R元 当初予算額	500	
R元 現計予算額	500						
増減額	200						
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)			
決算額又は決算見込額(千円)	259		496				
従事職員数【人工】	0.10		0.10				
人件費(人工×8,000千円)	800		800				
総事業費：人件費含む(千円)	1,059		1,296				
活動指標名	撤去箇所数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績(見込)	5	単位	件	6	単位	件	
単位当たりコスト(円)	211,800		216,000				
特定財源の状況			ブロック塀等撤去支援事業補助金(国) 350千円 (県) 175千円				
備考			<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (9) ブロック塀等撤去支援事業				

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	耐震改修促進計画策定事業							
所管課	まちづくり推進課		(建設部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	災害に強い安全・安心なまちづくりの推進に向け、住宅や不特定多数が利用する特殊建築物について、旧耐震基準で建築された既存建築物の内、耐震化されていない建築物の市内における現況を把握し、地震に対する安全性の向上を計画的に促進し、地震災害による被害を減少させる。				区分 No.	区分名				
					款	7	土木費			
					項	4	都市計画費			
					目	1	都市計画総務費			
事業	1	本庁都市計画総務費								
根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律									
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進									
R2年度事業の概要	平成28年12月策定の宇陀市耐震改修促進計画をもとに市では耐震化を図る施策を着実に進めてきたが、令和2年度末に計画期間の満了を迎えることから、計画の見直しを行う。 耐震改修促進計画の策定作業 ・住宅建築物耐震化率推定 ・避難路沿線建築物調査 ・特定建物台帳作成 (単位：千円) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>委託料</td> <td>4,978</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,978</td> </tr> </table>				委託料	4,978	合計	4,978	財源の内訳 (単位：千円)	
					委託料	4,978				
合計	4,978									
分担金										
使用料										
国費	2,489									
県費										
市債										
その他										
一般財源	2,489									
R2予算額	4,978									
R元当初予算額										
R元現計予算額										
増減額	4,978									
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況 社会資本整備総合交付金 2,489千円  備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (14)耐震改修促進計画策定事業						
	決算額又は決算見込額 (千円)									
	従事職員数【人工】									
	人件費 (人工×8,000千円)									
	総事業費：人件費含む (千円)									
	活動指標名									
	活動指標の算式									
活動指標の実績(見込)		単位		単位						
単位当たりコスト (円)										

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	建築物土砂災害対策改修促進事業		
所管課	まちづくり推進課 (建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	住宅又は建築物の土砂災害に対する安全性の向上を図り、市民の生命及び身体を保護するため、土砂災害が発生するおそれのある区域に存する既存不適格の建物に対する改修を促進する。		区分	No.	区分名
			款	7	土木費
			項	4	都市計画費
			目	1	都市計画総務費
			事業	1	本庁都市計画総務費
根拠条例等	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律				
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進				
R2年度事業の概要	土砂災害特別警戒区域の既存建築物であって、土砂災害に対する構造耐力上の安全性を有していないものに対して、改修に必要な費用を支援する。		財源の内訳 (単位：千円)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>区域内にある住宅の補強                      3,360千円×23%×1件                      (千円未満切り捨て)</li> </ul>		分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	宇陀市内には1,666箇所の土砂災害特別警戒区域があるが、上記の支援を行うことで、土砂災害の危険に晒される住宅の減少が見込め、土砂災害特別警戒区域内で暮らす市民の安全性の確保と不安の軽減を図る。		使用料		
			国費		386
			県費		193
			市債		
			その他		
			一般財源		193
			R2予算額		772
			R元当初予算額		
R元現計予算額					
増減額		772			
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	
決算額又は決算見込額 (千円)					
従事職員数【人工】					
人件費 (人工×8,000千円)					
総事業費：人件費含む (千円)					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績(見込)				単位	単位
単位当たりコスト (円)					
			特定財源の状況		
			建築物土砂災害対策改修促進事業補助金		
			(国)	386千円	
			(県)	193千円	
			備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (15) 建築物土砂災害対策改修促進事業	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公園施設長寿命化事業			
所管課	公園課	(建設部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	公園施設の計画的な維持管理を行うことにより、施設の健全度を高め、公園利用者の安全性の確保を図るとともに、長期的な仕様に努めることで、施設の修繕・更新費用の縮減や財政負担の平準化を図る。			区分 No.	区分名	
				款	7	土木費
				項	4	都市計画費
				目	2	公園費
事業	1	公園費				
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例					
総合計画	基本計画 5-3-1 公園・緑地の維持・管理					
R2年度事業の概要	公園施設長寿命化計画（5公園5施設） ・長寿命化計画公園施設整備工事 28,923千円			財源の内訳（単位：千円）		
				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	公園施設を起因とした事故を未然に防ぎ、利用者の安全性を確保する。また、計画的な施設更新を行うことで、財政負担を平準化する。			使用料		
				国費	10,500	
				県費		
				市債	18,400	
				その他		
				一般財源	23	
				R2予算額	28,923	
				R元 当初予算額	35,353	
				R元 現計予算額	35,353	
				増減額	▲ 6,430	
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額（千円）		19,339	社会資本整備総合交付金 10,500千円			
従事職員数【人工】		2.00	合併特例債 18,400千円			
人件費（人工×8,000千円）		16,000				
総事業費：人件費含む（千円）		35,339				
活動指標名	実施公園数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績(見込)		8	備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 3. 公園・緑地の整備・活用 (1) 公園施設長寿命化事業		
単位		公園				
単位当たりコスト（円）		4,417,375				

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	一般財団法人休暇村協会解決金				
所管課	公園課	(建設部)	宇陀市一般会計予算				
事業の目的	宇陀市と一般財団法人休暇村協会との間で、宇陀市宿泊事業者誘致事業の推進に関する協定を締結し、相互に本事業を推進してきたが、住民投票の結果を受け事業実施が不可能との最終判断に至ったことから、相手方が本事業の実現に向けて支出した費用（解決金）を支払うことにより相手方と和解（協定解除）を行う。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
事業	1	公園費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 3-5-2 地域資源を活かした観光・交流の創出						
R2年度事業の概要	宇陀市宿泊事業者誘致事業中止に伴う解決金（当該事業の実現に向けて支出した費用）				財源の内訳（単位：千円）		
	5,828,027円				分担金		
事業の目標・成果（これまでの成果、今後の見通し）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの経過                             <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年5月16日 宇陀市宿泊事業者誘致事業の推進に関する協定を締結</li> <li>平成30年12月16日 宇陀市保養センター美榛苑の老朽化に伴う宿泊事業者誘致事業・公園整備事業について住民の賛否を問う住民投票を執行</li> <li>投票結果を受け事業中止を決定</li> </ul> </li> <li>●今後の予定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年7月 議会議決後、解決金の支払い及び協定解除書の合意（予定）</li> </ul> </li> </ul>				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	5,829	
					R2予算額	5,829	
					R元当初予算額		
R元現計予算額							
増減額	5,829						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額（千円）	/						
従事職員数【人工】							
人件費（人工×8,000千円）							
総事業費：人件費含む（千円）							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績（見込）		単位	人		単位	人	
単位当たりコスト（円）					備考		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	平成榛原子供のもり公園活性化事業				
所管課		公園課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	当公園は、21世紀を担う子ども達の健やかな成長を促すと共に、各世代間の交流の場としての対話を生み、自然環境や社会性を育む場の提供を目的に開園したが、利用者が横ばい傾向にあるため、単なる維持管理だけでは無く、集客効果のある様々な事業の展開を市民団体の活力を活かして行い、公園の活性化を図る。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
事業	62	子供のもり公園費					
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 5-3-1 公園・緑地の維持・管理						
R2年度事業の概要	「子供のもり公園活性化協会」を中心に事業を企画運営し、市内外から来園者を増やすことを目指す。また、カヌー教室を始め子供のもり公園を多種多様な使い方を模索検討し、従来の利用方法の概念に縛られず、宇陀市独自の特色を活かした催しを開催する。 [補助金] 平成榛原子供のもり公園活性化協会補助金 880千円				財源の内訳 (単位：千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	子供のもり公園を市内外の幅広い年齢層に周知し来園いただくため、自然環境を活かしたアウトドア体験、カヌー教室等、季節毎に特色を活かしたこども対象に限らない事業を進めていく。その為に「子供のもり公園活性化協会」を中心に事業を企画運営し、さらに協会新規会員を広く募り、事業の充実と多角化を図り、幅広い内容で企画運営する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	880	
					R2予算額	880	
					R元 当初予算額	864	
					R元 現計予算額	864	
					増減額	16	
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		864	864				
従事職員数【人工】		2.00	2.00				
人件費 (人工×8,000千円)		16,000	16,000				
総事業費：人件費含む (千円)		16,864	16,864				
活動指標名		入園者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		67,647	単位	人	68,000	単位	人
単位当たりコスト (円)		249		248		備考	
		<予算案重点事業> 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 3. 公園・緑地の整備・活用 (2) 平成榛原子供のもり公園活性化事業					



令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	萩原12号線道路改良事業																																				
所管課		まちづくり推進課	(建設部)		宇陀市一般会計予算																																		
事業の目的	市街地を中心に、より安全で暮らし良い道路網の整備を行うことで、歩行者や自転車通行者に配慮した道路整備を図る。				区分 No.	区分名																																	
					款	7	土木費																																
					項	4	都市計画費																																
					目	3	社会資本整備推進事業費																																
事業	1	社会資本整備総合交付金事業費																																					
根拠条例等																																							
総合計画		基本計画 2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備																																					
R2年度事業の概要	(単位：千円)				財源の内訳 (単位：千円)																																		
	<table border="1"> <tr><td>委託料</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>35,000</td></tr> <tr><td>公有財産購入費</td><td>4,200</td></tr> <tr><td>補償</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>1,748</td></tr> <tr><td>合計</td><td>44,948</td></tr> </table>				委託料	3,000	工事請負費	35,000	公有財産購入費	4,200	補償	1,000	事務費	1,748	合計	44,948	<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>16,027</td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td>24,300</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>4,621</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>44,948</td></tr> <tr><td>R元当初予算額</td><td>49,044</td></tr> <tr><td>R元現計予算額</td><td>49,044</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>▲ 4,096</td></tr> </table>		分担金		使用料		国費	16,027	県費		市債	24,300	その他		一般財源	4,621	R2予算額	44,948	R元当初予算額	49,044	R元現計予算額	49,044	増減額
委託料	3,000																																						
工事請負費	35,000																																						
公有財産購入費	4,200																																						
補償	1,000																																						
事務費	1,748																																						
合計	44,948																																						
分担金																																							
使用料																																							
国費	16,027																																						
県費																																							
市債	24,300																																						
その他																																							
一般財源	4,621																																						
R2予算額	44,948																																						
R元当初予算額	49,044																																						
R元現計予算額	49,044																																						
増減額	▲ 4,096																																						
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)		密集市街地において、消防自動車等の緊急車両がスムーズに通行可能となり、地域住民の安心・安全な暮らしを確保する。 南都銀行・大和信用金庫・新町郵便局をはじめ周辺商店等へのアクセス道路として整備することで、商業サービス環境の充実と賑わいの創出を図る。																																					
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																		
決算額又は決算見込額 (千円)		32,782	6,088		社会資本整備総合交付金 16,027千円																																		
従事職員数【人工】		1.50	1.50		合併特例債 24,300千円																																		
人件費 (人工×8,000千円)		12,000	12,000		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (1) 効果的な道路新設・改良と補修の実施																																		
総事業費：人件費含む (千円)		44,782	18,088																																				
活動指標名																																							
活動指標の算式																																							
活動指標の実績(見込)		単位	単位																																				
単位当たりコスト (円)																																							

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	市営住宅ストック総合改善事業（屋根改善）																																																																																						
所管課	公営住宅課	(建設部)	宇陀市一般会計予算																																																																																						
事業の目的	市営住宅ストック戸数の約8割が建築後30年以上経過している。用途廃止による除却、建替え、維持保全の適切な手法を選択する中で、計画的に築後30年前後の市営住宅の改善工事を実施することにより長寿命化・安全対策を図る。		区分 No.	区分名																																																																																					
			款	7	土木費																																																																																				
			項	5	住宅費																																																																																				
			目	1	住宅管理費																																																																																				
事業	1	本庁住宅管理費																																																																																							
根拠条例等	宇陀市営住宅条例、宇陀市営改良住宅条例																																																																																								
総合計画	基本計画 2-2-2 定住につながる環境づくり																																																																																								
R2年度事業の概要	川原・下川原団地屋根改善工事 集合住宅4棟8戸（簡易耐火構造）平成元年築			財源の内訳（単位：千円）																																																																																					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根改善工事設計業務 1,477千円</li> <li>・屋根改善工事監理業務 3,062千円</li> <li>・屋根改善工事 44,625千円</li> <li>・事務費 172千円</li> <li>（合計） 49,336千円</li> </ul>			<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>17,849</td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td>31,400</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>87</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>49,336</td></tr> <tr><td>R元当初予算額</td><td>94,156</td></tr> <tr><td>R元現計予算額</td><td>94,156</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>▲ 44,820</td></tr> </table>		分担金		使用料		国費	17,849	県費		市債	31,400	その他		一般財源	87	R2予算額	49,336	R元当初予算額	94,156	R元現計予算額	94,156	増減額	▲ 44,820																																																														
分担金																																																																																									
使用料																																																																																									
国費	17,849																																																																																								
県費																																																																																									
市債	31,400																																																																																								
その他																																																																																									
一般財源	87																																																																																								
R2予算額	49,336																																																																																								
R元当初予算額	94,156																																																																																								
R元現計予算額	94,156																																																																																								
増減額	▲ 44,820																																																																																								
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）	【屋根改善工事（成果・見通し）】																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">団地名</th> <th rowspan="2">建築年度</th> <th rowspan="2">棟/戸数</th> <th colspan="5">年度（戸数）</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1団地</td><td>S56</td><td>10棟 20戸</td><td>10</td><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>第7団地</td><td>S58</td><td>10棟 20戸</td><td></td><td>14</td><td>6</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>梅ノ木団地</td><td>S58</td><td>6棟 12戸</td><td></td><td></td><td>12</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>芝生第1団地</td><td>S58</td><td>2棟 4戸</td><td></td><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>芝生第2団地</td><td>S59</td><td>2棟 4戸</td><td></td><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>協和団地</td><td>S59</td><td>8棟 15戸</td><td>14</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>川原団地</td><td>H元</td><td>10棟 20戸</td><td></td><td></td><td></td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>下川原団地</td><td>H元</td><td>11棟 22戸</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>59棟 117戸</td><td>24</td><td>32</td><td>19</td><td>4</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	団地名	建築年度	棟/戸数	年度（戸数）					H28	H29	H30	R元	R2	第1団地	S56	10棟 20戸	10	10				第7団地	S58	10棟 20戸		14	6			梅ノ木団地	S58	6棟 12戸			12			芝生第1団地	S58	2棟 4戸		4				芝生第2団地	S59	2棟 4戸		4				協和団地	S59	8棟 15戸	14		1			川原団地	H元	10棟 20戸				4	4	下川原団地	H元	11棟 22戸					4	計		59棟 117戸	24	32	19	4	8			
団地名	建築年度				棟/戸数	年度（戸数）																																																																																			
		H28	H29	H30		R元	R2																																																																																		
第1団地	S56	10棟 20戸	10	10																																																																																					
第7団地	S58	10棟 20戸		14	6																																																																																				
梅ノ木団地	S58	6棟 12戸			12																																																																																				
芝生第1団地	S58	2棟 4戸		4																																																																																					
芝生第2団地	S59	2棟 4戸		4																																																																																					
協和団地	S59	8棟 15戸	14		1																																																																																				
川原団地	H元	10棟 20戸				4	4																																																																																		
下川原団地	H元	11棟 22戸					4																																																																																		
計		59棟 117戸	24	32	19	4	8																																																																																		
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																																																																					
決算額又は決算見込額（千円）	54,856	26,796		地域住宅政策交付金17,849千円 合併特例債 31,400千円																																																																																					
従事職員数【人工】	1.00	1.00																																																																																							
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000																																																																																							
総事業費：人件費含む（千円）	62,856	34,796																																																																																							
活動指標名	改善戸数																																																																																								
活動指標の算式	—																																																																																								
活動指標の実績(見込)	19	単位	戸	4	単位	戸																																																																																			
単位当たりコスト（円）	3,308,211		8,699,000																																																																																						
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化 (6)市営住宅等ストック総合改善事業																																																																																								

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>罹災者支援住宅補助事業</b>																															
所管課	公営住宅課	(建設部)	宇陀市一般会計予算																															
事業の目的	宇陀市内で家屋が災害（火災または、風水害・土砂災害等の自然災害）により罹災し居住不能となった場合、民間賃貸住宅に避難した世帯に対し経費の一部を補助し生活再建を支援する。			区分 No.	区分名																													
				款	7	土木費																												
				項	5	住宅費																												
				目	1	住宅管理費																												
事業	1	本庁住宅管理費																																
根拠条例等	宇陀市罹災者支援住宅補助金交付要綱																																	
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進																																	
R2年度事業の概要	補助対象経費 ・家賃、礼金及び賃貸借契約に係る経費の一部 (ただし、敷金、共益費、駐車場使用料は対象外) ①礼金、諸経費 1件当たりの上限額 160千円(家賃の2ヶ月分) ②賃貸家賃 1件当たりの上限額 240千円(3ヶ月分) (単位:千円)			財源の内訳 (単位:千円)																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>負担金補助及び交付金</th> <th>件数</th> <th>1件当たり</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table>			負担金補助及び交付金	件数	1件当たり	合計		1	400	400	<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>400</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>400</td></tr> <tr><td>R元当初予算額</td><td>400</td></tr> <tr><td>R元現計予算額</td><td>400</td></tr> <tr><td>増減額</td><td></td></tr> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	400	R2予算額	400	R元当初予算額	400	R元現計予算額	400	増減額
負担金補助及び交付金	件数	1件当たり	合計																															
	1	400	400																															
分担金																																		
使用料																																		
国費																																		
県費																																		
市債																																		
その他																																		
一般財源	400																																	
R2予算額	400																																	
R元当初予算額	400																																	
R元現計予算額	400																																	
増減額																																		
事業の目標・成果 (これまでの成果,今後の見通し)	住宅が居住不能となった場合、避難先となった民間賃貸住宅に係る家賃等の経費に対して補助することで、生活再建を支援する。																																	
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)																															
決算額又は決算見込額 (千円)		/																																
従事職員数【人工】																																		
人件費 (人工×8,000千円)																																		
総事業費:人件費含む (千円)																																		
活動指標名																																		
活動指標の算式																																		
活動指標の実績(見込)			単位		単位																													
単位当たりコスト (円)																																		
					特定財源の状況																													
					備考																													
					<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (12)罹災者支援住宅補助事業																													